

4. AHPアンケート結果

(1) アンケートの概要

AHPアンケートの記入要領

■ 最終目標

「あなたは、金沢のバス事業として、
独立採算型と税金投入型のどちらを選びますか!？」

■ AHPとは

- ◇ 毎日が意志決定の連続であり、評価基準が複雑になるほど、多くなるほど悩んでしまい、決定できないことがよくあります。
- ◇ AHPはこのような場合、どの評価基準に重きを置くのかを決めていくことで、最終的に定量的な決定を行う理論です。
- ◇ まず問題の要素を最終目標・評価基準・候補案の階層に構造化します。

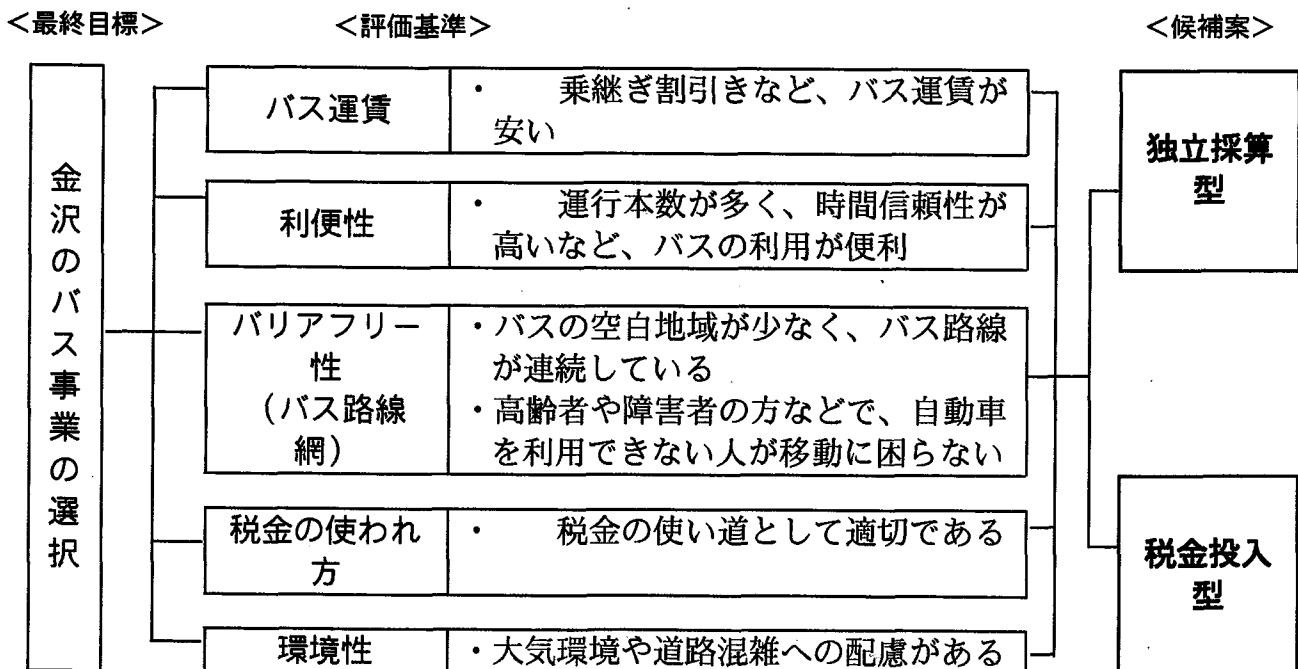
例) 最終目標=新車の購入

評価基準=走り、居住性、外観、装備 etc

候補案 =スポーツタイプ、ワゴンタイプ、セダンタイプ etc

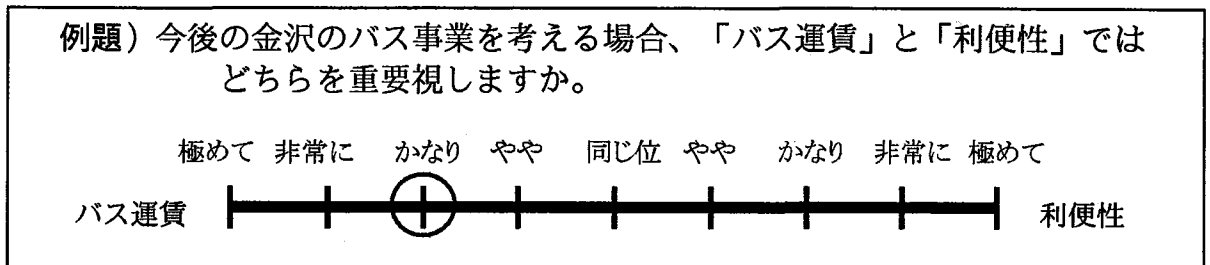
- ◇ 次に一対比較による重み付けを行い、最終目標から見た候補案の総合的な重みを定量的に求める理論です。

■ 問題の構造



■例題と記入の仕方（一対比較の説明）

- ◇ 例題のように、「バス運賃」と「利便性」ではどちらを重要視しますか、といった具合に一対比較の質問をします。回答は、目盛りの該当する箇所に○を記入して下さい。
- ◇ 例題では「バス運賃」が「利便性」に対して“かなり重要”と考えた場合です。



■主な施策

<前提条件> 対象とするバス路線は、金沢市に乗り入れている路線
 検討の対象年次は、今後5～10年
 まちづくりの方向性は、中心市街地の活性化

	独立採算型	税金投入型
基本的な考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・交通機関は受益者負担での運営が原則 ・バス路線維持のための税金投入は避けるべきで、インフラ整備に止めるべき ・行政負担ありきでは経営が甘くなり、市民の税負担が増大する 	<ul style="list-style-type: none"> ・バスは公共交通であり、公共の福祉や交通弱者対策の面から維持されるべき ・税金による運営費用の赤字補填は当然 ・やり方次第で、税負担の増大は防げる
バス運賃	<ul style="list-style-type: none"> ・値上げは容認する 	<ul style="list-style-type: none"> ・税金投入による維持・値下げを実施 ・乗継ぎ割引を実施
利便性	<ul style="list-style-type: none"> ・利用の少ない路線や時間帯は運行しない ・需要の見込める路線に、サービスを集中する 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用が少なくとも、最低限の運行は実施
バス路線網	<ul style="list-style-type: none"> ・不採算路線の撤退（福祉タクシー等、スペシャルトランスポート（ST）を充実） ・採算路線の拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ・不採算路線の維持 ・採算路線の拡大
税金投入	<ul style="list-style-type: none"> ・車両購入、バスロケ・バス停整備の補助など、必要最小限に抑える（現行施策） 	<ul style="list-style-type: none"> ・車両購入、バスロケ・バス停整備の補助拡大、ふらっとバスの運行等（現行施策） ・既存路線維持に必要な赤字は補填 ・バス料金の低廉化に伴う費用は負担
環境性	<ul style="list-style-type: none"> ・路線撤退による道路混雑はやむなし 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境にやさしい車両の導入